

やさしく読める英語ニュース（聞き取り問題）

えいごネットの「やさしく読める英語ニュース」の音声ファイルを聞いて、下の空欄の単語を聞き取る練習をしてみましょう。

Boston proclaims Sept. 1 to be ‘Seiji Ozawa Day’

Boston has (1) Seiji Ozawa by naming a day after him. The city named Sept. 1, the conductor’s birthday, as “Seiji Ozawa Day” to (2) his (3) to the city’s cultural life.

“For me, Boston is my second home. I love and miss all my (4) and friends at the Boston Symphony Orchestra,” Ozawa said from Japan.

He is the longest-(5) conductor of the orchestra and a (6) (7) for the Boston Red Sox.

<ヒント>

- (1) 発音とスペル、意味をよく確認しよう。
- (2) ボストン市は小澤さんの偉業を認めて「小澤征爾の日」とした。
- (3) ボストンへの多大なる〇〇が評価された。
- (4) co-workers と同義。
- (5) 小澤さんはこの交響楽団で指揮者を歴代最長で勤めた。
- (6)(7) 文化交流の促進を図るために任ぜられる役職の名前。

やさしく読める英語ニュース（聞き取り問題） 解答編

<解答>

- (1) honored 動 称える、荣誉を授ける。
- (2) recognize 動 認定する。
- (3) contribution 名 寄与、貢献。
- (4) colleagues 名 同僚。
- (5) serving the longest-serving で「一番長く務めた」。
- (6)(7) goodwill ambassador 名 親善大使。

<ニュース解説（英文の和訳ではありません）>

アメリカ・マサチューセッツ州にあるボストン市が、小澤征爾氏の 85 歳の誕生日である 2020 年 9 月 1 日を「Seiji Ozawa Day（小澤征爾の日）」とすることを決めたというニュース。小澤さんは、日本で指揮者として経験を積みながら給費留学生に応募して不合格となったが、スクーターとギターとともに貨物船で単身渡仏。フランスのブザンソン国際指揮者コンクールで優勝し、カラヤン、バーンスタイン等の名指揮者に師事。世界に活躍の場を広げた。ボストン交響楽団では指揮者、音楽監督を歴代最長の 29 年間（1973～2002 年）務め、現在はサイトウ・キネン・オーケストラの総監督として、後進の育成に尽力している。小澤さんは、自身の名前を冠した記念日の制定に、ボストンは第二の故郷であり、そこで過ごした時間はかけがえのないものであったとコメントを寄せている。またボストンに拠点を置くメジャーリーグ球団「Boston Red Sox」の親善大使を務め、現在でも同チームやマサチューセッツ州のアメリカンフットボールチーム「New England Patriots」の全試合をインターネットで観戦しているという。著書に『ボクの音楽武者修行』（新潮文庫）、『小澤征爾さんと、音楽について話をする』（村上春樹氏との共著・新潮文庫）などがある。